

学年	高校2年	教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	5
教科書名	詳説 世界史 (山川出版)			副教材名	アカデミア世界史 (浜島書店) 世界史用語集改訂版 (山川出版)		
コース・クラス	中高一貫文系						

I. 目標

1. 基礎学力到達度テスト、模擬試験や入試問題に対応できる実力を身につける。
2. 歴史的思考力を培って多角的な視点を持ち、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

II. 授業のねらい

1. 生徒個々の進路目標に即した問題演習を行い、国公立大・難関私大入試に対応できる学力を目指す。
2. 現代社会に起こる様々な出来事に歴史的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 日本を含む世界の歴史の複合性や関連性を理解させ、歴史に対する理解を深めるとともに、生徒の学力向上を図り生徒の進路実現に寄与する。

III. 授業の進め方

1. シラバス通りの授業を展開する。
2. 模試演習、過去問演習、到達度演習など、必要に応じて実施する。
3. 世界史用語集の重要単語を学習の目安とする。
4. 一問一答などの復習課題を出し、既習範囲を繰り返し復習させる体制を作る。
5. 図表などを使用しながら、その時々々の事例と現代とのつながりをつかませる。

IV. 学習上の留意点

1. 用語の暗記のみではなく、様々な事象を体系的に覚えること。
2. 板書の書き写しだけでなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。
3. 配られた資料は、ノートに貼るなどして管理し、復習に努めること。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験： 第1章 1 文明の誕生～第2章 3 中国の動乱と変容
- 1 学期 期末試験： 第2章 4 東アジア文化圏の形成～第4章 4 キリスト教の成立と発展
- 2 学期 中間試験： 第5章 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立～第7章 1 西ヨーロッパの封建者社会とその展開
- 2 学期 期末試験： 第7章 2 東ヨーロッパ世界の展開～第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 2 モンゴルの大帝国
- 3 学期 学年末試験： 第9章 1 アジア交易世界の隆盛～第11章 6 科学革命と啓蒙思想

VI 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物（課題）

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明	小テスト	①人類の進化、文明の成立、人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につける。 ②地球上に発生した各地の文明の成り立ちや特徴を理解する。
	5	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	中間試験	③殷～漢代に東アジア世界の骨格ができたことを理解する。 ④漢代の政策、特に武帝の時代については、地図や資料を確認しながら他地域との関係を含めて理解する。
	6	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着	小テスト	⑤魏晋南北朝時代以降は、他民族との交流によって新制度が発達するなど、東アジアが発展した流れを理解する。 ⑥隋唐帝国が、名実ともに東アジア文化圏を形成したことを理解する。
	7	3 東南アジア世界の形成と展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマ地中海支配 4 キリスト教の成立と発展	期末試験	⑦仏教の成立についてその背景と特徴を理解する ⑧インド古代文明の特徴や成り立ちについて理解をする。各王朝の地理的な特徴も含めて理解する。 ⑨アテネにおける民主政発達の過程とその歴史的意義について理解する。 ⑩ローマに関して、ギリシア文明との比較を交えながら、ローマ文明が多くの点で現代文明の基礎となっていることを理解する。 ⑪キリスト教の成立を理解し、現代まで大きな影響を及ぼしていることを理解する。

二学期	9	<p>第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立</p> <p>2 ヨーロッパ世界の形成</p>	小テスト	<p>⑫イスラームの各王朝および地域ごとの王朝の変遷を理解するとともに、ムスリム商人を中心に経済活動が活発化したことを理解する。</p> <p>⑬イスラームの社会と文化を、資料を活用して理解し、イスラーム社会が諸地域に拡大する中で、イスラーム文化がヨーロッパやアジアに影響を与えたことを理解する。</p> <p>⑭ゲルマン人の国家やイスラーム世界が拡大する中で、ヨーロッパ世界が東西に分かれて形成される様子を理解する。</p> <p>⑮キリスト教に基づく中世社会の特色を理解し、経済や都市の発達に伴って西ヨーロッパ社会が拡大する流れを理解する。</p> <p>⑯宋～元の時代にかけて経済活動が盛んになり、14世紀のモンゴル帝国の衰退が新たな帝国の形成に繋がることを理解する。</p> <p>⑰モンゴルの系図を確認し、支配領域の拡大範囲及びその経緯をしっかりと理解する。</p>
	10	<p>第6章 イスラーム教の伝播と西アジア世界の動向</p> <p>1 イスラーム教の諸地域への伝播</p> <p>2 西アジアの動向</p>	中間試験	
	11	<p>第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>1 西ヨーロッパの封建社会とその展開</p>	小テスト	
	12	<p>2 東ヨーロッパ世界の展開</p> <p>3 西ヨーロッパ世界の変容</p> <p>4 西ヨーロッパの中世文化</p> <p>第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>1 アジア諸地域の自立化と宋</p> <p>2 モンゴルの大帝国</p>	期末試験	
二学期	1	<p>第9章 大交易・大交流の時代</p> <p>1 アジア交易世界の隆盛</p> <p>2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容</p>	学年末試験	<p>⑱大航海時代に活躍した人物を知り、この時代が各地域に与えた影響と、世界が一体化した過程を理解する。</p> <p>⑲16～17世紀にかけてのアジア地域の繁栄と、各地域における諸帝国の特徴を理解する。</p> <p>⑳オスマン帝国の支配領域の拡大とその変遷及び、ヨーロッパ諸国との関係性(対立軸)を理解する。</p> <p>㉑同時期に起こっているルネサンス、宗教改革、主権国家形成が、近代社会成立の準備をした出発点となったことを理解する。</p> <p>㉒各国における宗教改革、対抗宗教改革の動きを理解するとともに、宗教対立を超えた主権国家間の対立が起こっていることを理解する。</p> <p>㉓主権国家が国富増大のために行った政策を国ごとに理解し、その延長上に植民地拡大の動きがあったことを知る。</p>
2	<p>第10章 アジアの諸帝国の繁栄</p> <p>1 オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>2 ムガル帝国の隆盛</p> <p>3 清代の中国と隣接諸地域</p>			
3	<p>第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p>1 ルネサンス</p> <p>2 宗教改革</p> <p>3 主権国家体制の成立</p> <p>4 オランダ・イギリス・フランスの台頭</p> <p>5 北欧・東欧の動向</p> <p>6 科学革命と啓蒙思想</p>			

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。